

[3_1]きゅうとNEWSLETTER

<https://hdl.handle.net/2324/1810677>

出版情報：きゅうとNEWSLETTER. 3 (1), pp. 1-, 2008-04. 九州大学附属図書館
バージョン：
権利関係：





きゅうと

VOL. 3

NO.1 新入生歓迎号

九州大学附属図書館報

2008.4



マスコット
「KyūRitto」が
あちこちに
(理系図書館)



夏恒例の
七夕飾り
(中央図書館)



たくさんの
かっこいい椅子
(芸術工学図書館)

ようこそ 九州大学 附属図書館へ!



大きな窓から
見える景色は?
(筑紫図書館)



圧倒される
高い書架
(文系合同図書室)



ピカソの作品も
あるんです
(医学図書館)



どこにあるかな
熊の剥製
(六本松図書館)

CONTENTS

- 館長からのメッセージ
- ようこそ!! 九大図書館へ
- まずはきゅうとOPACから覚えよう!

- こんなときは、図書館ウェブサイトのここにアクセス!
- きゅうとMyLibraryに登録しよう!
- 図書館員のおしゃべりコラム

図書館を中心に コミュニケーションの 輪を広げ、授業に積極的に 参加してみよう

附属図書館長 有川 節夫



九州大学附属図書館では、この 10 年近く学習機能と研究機能の充実に取組んできました。特に、学部学生用の図書や参考図書のために特別な予算を確保して、指定図書や参考図書、シラバス掲載図書、辞典やハンドブック等の図書資料を充実させてきました。また、館内で、学習や研究・調査に集中できるように視線を遮る閲覧机や個室を用意し、長時間利用できるように飲料水等を置いたリフレッシュルームも作りました。さらに、授業の前の 30 分に確認や調べものができるように早朝開館も開始しました。他の利用者の迷惑にならないようにしなければなりません。リフレッシュルームや個室では、数人のグループでの直接的なコミュニケーションや学習も可能になりました。

既に気付いている人も多いと思いますが、図書館のホームページは、最近、内容も機能も非常に充実しています。各種の案内、電子ジャーナルを始めとする豊富な電子の図書資料、検索結果から一次資料に直接飛べる便利なリンク機能、図書館への依頼や図書館からの連絡に便利な MyLibrary 機能など、どれもよく使われています。こうした機能の他に、まだ本格的に活用されていませんが、本学の構成員に限定した新しい会員制のウェブサービスもあります。これは、SNS(Social Networking Service) という、メンバー間でウェブページを介した交流のできるサービスで、福岡限定 SNS である VARRY と連携したものです。九大の同じ趣味の仲間との交流やゼミ仲間との連絡・確認、サークルの掲示板などとして使えます。ここでは、九大の構成員同士では実名を確認できますので、安心して使え、必然的にある程度、抑制のきいた健全で建設的なコミュニケーションが期待できます。

これを使えば、例えば、特定の授業を受けている学生と先生によるコミュニケーションの場をつくることができます。特定の授業に関するコミュニティでは、クラスでの直接的な質疑応答に加えて、もっと深い質問やそれに対する応答、メンバー間の踏み込んだ議論などができるはずです。それを通じて、学生は授業の理解を確かなものにし、先生は自分の指導法を練り直すことができます。こうして、ネットワークを介した新しい健全で建設的なコミュニティが形成され、学生が積極的に参画・関与し、先生と一緒に授業を作り上げ、それが教材開発や教科書の出版や改訂にも繋がり、大学における教育が飛躍的に活性化することを願っています。

よ

う

こ

そ

!!

九

大

図

ご入学おめでとうございます

新入生の皆さんは期待に胸膨らませて九州大学に入学されたことでしょう。大学で学びたい目的は各人で様々かと思われませんが、九州大学では皆さんの学習、研究をサポートする各種の施設・設備が整備されており、その中でも図書館は膨大な数の蔵書や長時間開館による施設開放、情報の宝庫と言えるウェブサイトの構築など、学習研究施設として特に充実したものとなっています。九州大学には、箱崎キャンパスの中央図書館をはじめ、各キャンパスに7つの図書館・室があります。大学に入学された皆さんが最初に訪れる六本松図書館、全学の総合図書館としての機能を持つ中央図書館の他、各図書館が連携し、様々な図書館サービスを展開しています。図書館を使いこなして、実りある学生生活を送っていただけるよう願っています。



六本松図書館（六本松キャンパス）

まずは六本松図書館に足をはこんでみてね。

図書館の利用ガイド

まずは図書館に行ってみよう

●図書館への入り方

図書館玄関に入ると、入館ゲートがあります。学生の皆さんは学生証が図書館の利用者カードとして使えますので、裏面のバーコードをゲートで読み取らせて入館してください。



入館ゲート

～図書館を使いこなそう!～



図書館のマスコットキャラクター 「きゅうと君」



附属図書館のマスコットキャラクター。「九」の字と「図」の字を重ねてデザインされています。好奇心旺盛なきゅうと君は、知識と情報を求めて頭の触手を回転させて飛び回ります。

図書館には何がある？何ができる？

●自学自習はぜひ図書館で!

受験勉強で頑張ってきた皆さんに言うのも何ですが、図書館は長時間勉強するのにとても良い環境です。

周りに人がいて落ち着かない? → いいえ、同じ目的で来ている人たちがいるからこそ適度の刺激があつて良いのです。集中して勉強したい人には個人用の研究個室もあります。

休憩場所がない? → 中央図書館には、飲食が可能なリフレッシュルームがあります。飲み物の自動販売機もありますので、どうぞご利用ください。

長時間開館も大学図書館の魅力。中央図書館は平日は朝8時から夜10時まで、六本松図書館は朝9時から夜8時まで開館していますので、じっくり勉強できますよ。

●学習研究活動を支える膨大な資料群

九大図書館には、学習・研究用図書、学術雑誌など、380万冊を超える膨大な資料が揃っています。必要な資料がない時でも、他の図書館から取り寄せたり、購入希望のリクエストをすることもできます。どちらもウェブサイトからできるので、とっても便利。ぜひご利用ください。

●施設設備も充実

ゆったり本を読むことができる閲覧室はもちろんのこと、インターネット検索ができる情報サロン、グループ学習室として使える演習室、音楽や映像を楽しめるAVコーナー、海外のテレビ番組を視聴できる海外衛星放送システム、など様々な用途で図書館を使つていただけます。



リフレッシュルーム



開架閲覧室書架

図書や雑誌を探してみよう

(1)まずはきゅうとOPACで検索

図書館の蔵書のほとんどが図書館ウェブサイトのきゅうとOPACから探すことができます。検索画面で書名等のキーワードを入れて検索してください。検索結果に所蔵場所が表示されます。

目的の図書が他キャンパスに所蔵している場合、最寄の図書館に取り寄せすることもできます(図書配送サービス)。

(2)書架に資料を探しに行く

図書館の本は基本的に背ラベルの記号(請求記号といいます)の順番に書架に並んでいます。きゅうとOPACの検索結果に表示される所蔵場所と請求記号をもとに資料を探してみましょう。もし分からないときは、近くの図書館スタッフに聞いてください。

書架には、類似のテーマの図書が隣接しているので、目的の本とは別の興味深い本が見つかることもありますよ。



情報サロン

図書を借りてみよう

さて、目的の図書を探して館内で読んでみたが、ちょっと一度には読みきれない。そんなときは、借りてみましょう。カウンターで手続きしてください。カウンタ横には、セルフで貸出可能な自動貸出装置もあります。

図書館ウェブサイトを活用しよう

図書館ウェブサイトからは、各図書館の開館時間やニュースを確認したり、蔵書の検索(きゅうとOPAC)、電子ジャーナルやデータベース等の電子化された学術情報を利用することができます。また、図書館のポータルサイト「きゅうと MyLibrary」に登録することで、Web 上から貸出の延長や予約をすることができます。まずは、図書館ウェブサイト(<http://www.lib.kyushu-u.ac.jp/>)を覗いてみてください。次ページから、図書館ウェブサイトで提供している代表的なサービスを紹介します。



閲覧室の書架



きゅうと君からのお願い

- 読み終わった本は、後で探しやすいように、必ず元の場所に返してね。
- 図書館は静かに利用しましょう。携帯電話はマナーモードで。
- 食事は決められた場所で行ってね。

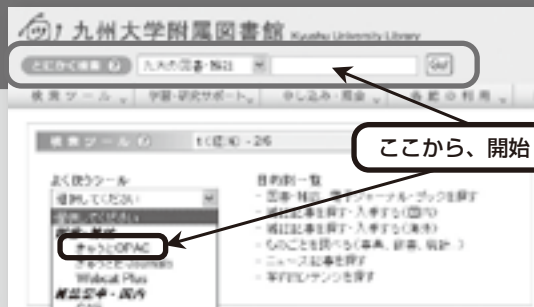
まずは OPAC から覚えよう！

きゅうとオーパック

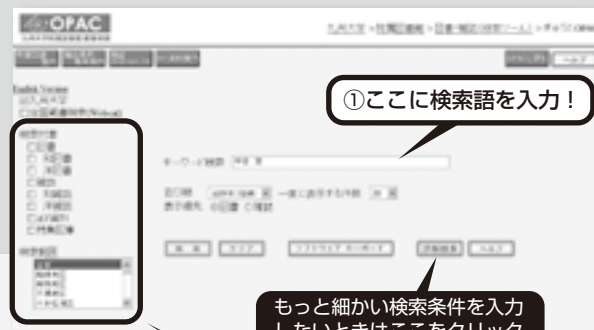
「OPAC(オーパック)」は、Online Public Access Catalogの略で、所蔵している図書や雑誌が検索できるデータベースのことです。九大には、7つの図書館・室に380万冊を超える蔵書があります。その膨大な資料を利用するために、まずは「きゅうとOPAC」の使い方をマスターしましょう。九大の中だけでなく、日本中の大学の蔵書も検索できます。使い方は簡単です！

図書館ウェブサイトからアクセス

とにかく検索：九大の図書・雑誌 GO!
よく使うツール：きゅうとOPAC を選択

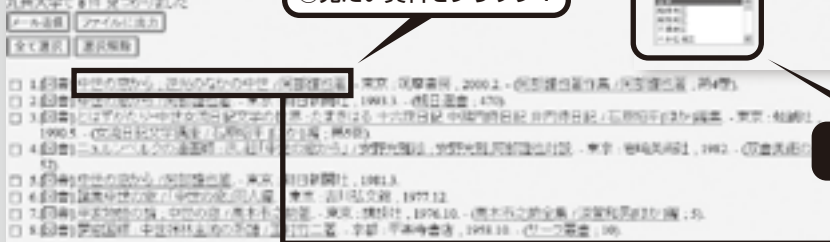


蔵書検索は、携帯版ウェブサイトからでもできます。裏表紙のQRコードからアクセス。



検索結果一覧が表示される

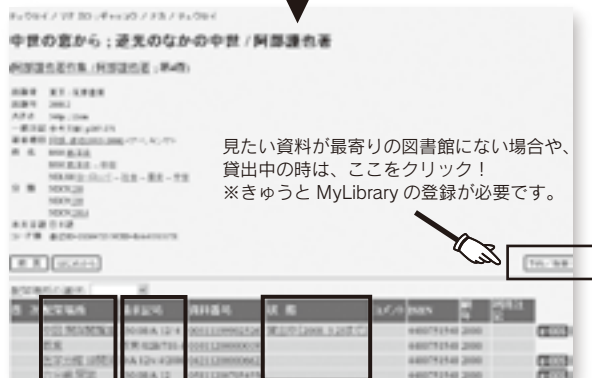
②見たい資料をクリック!



資料の詳細が表示される

図書

雑誌

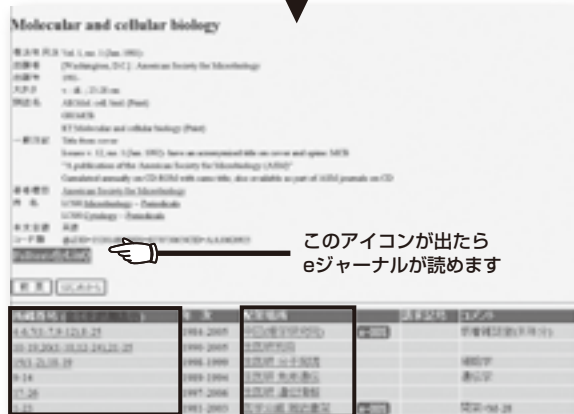


見たい資料が最寄りの図書館にない場合や、貸出中の時は、ここをクリック!
※きゅうと MyLibrary の登録が必要です。

■状態 貸出中、予約中、禁帯出などの情報をここで確認。

■請求記号 図書の背ラベルの記号。図書はこの順に並んでいます。

■配架場所 九大のどの図書館(室)のどの場所にあるか。クリックすると連絡先や館内図が表示されます。



このアイコンが出たら eジャーナルが読めます

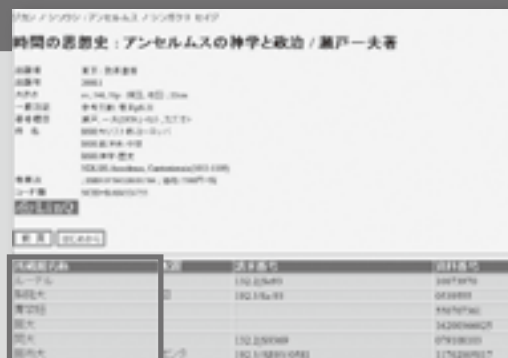
■所蔵巻号 配架場所ごとに所蔵している巻・号を表示。＋が付いているものは、継続して購入中です。

九大になくても...

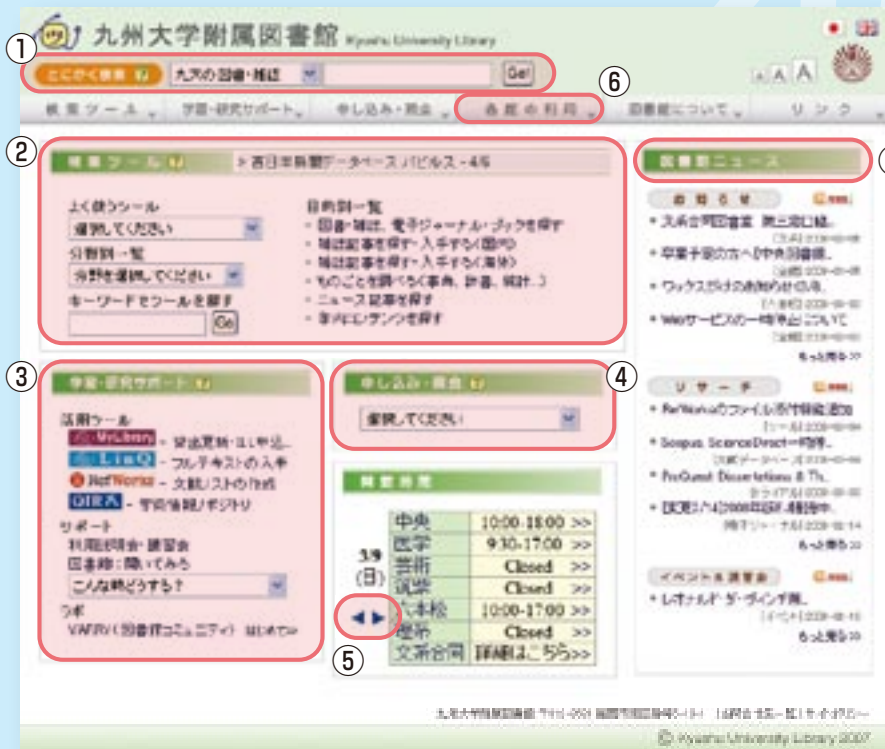
0件です、と出たらこちらも試してみよう。
全国の大学図書館等の所蔵を一括検索できます。
他大学から取り寄せることもできます(有料)。



ここにチェックを入れて、同じように検索



こんなときは、 図書館ウェブサイトのここにアクセス！



①
●あの本、図書館にあるのかな？

⇒ [とにかく検索？](#)

②
●論文のタイトルから探したい
●新聞記事をWeb上で見ることはできるのかな？
●○○分野の文献を調べるツールにはどのようなものがある？

⇒ [検索ツール？](#)

⇒ [とにかく検索？](#) 詳しい使い方がわかります

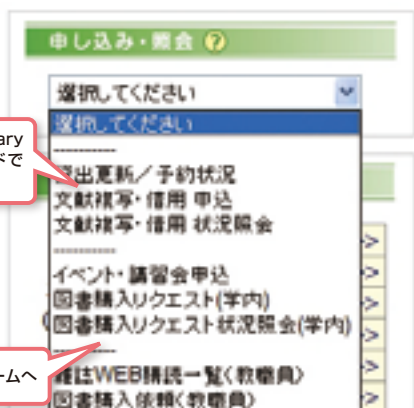
[検索ツール？](#)

③
●きゅうとMyLibraryに登録したい
●このアイコン LinQ 何だろう？
●ツールの使い方がよくわからないから図書館に質問しよう

⇒ [学習・研究サポート？](#)

④
●返却期限を延長しておこう
●他大学から文献を取り寄せたい
●読みたい本が九大にないから、リクエストしよう

⇒ [申し込み・照会？](#)



⑤
●今週末は何時から開いてるのかな？

⇒ [開館時間](#)

クイックで日めくり

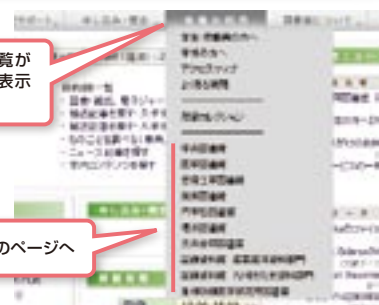


⑥
●各館の利用方法について詳しく知りたい

⇒ [各館の利用](#)

選択した項目の一覧がドロップダウンで表示されます

各館のページへ



⑦
●新着ニュース自動配信

⇒ [RSS](#)
[図書館ニュース](#)

図書館の
個人向けサービス



MyLibrary

に登録しよう！

きゅうとマイライブラリー

きゅうとMyLibraryに登録すると…

- あー、借りた本、まだ読み終わってない…そうだと延長しとこ！
- 読みたい本が他のキャンパスにあるなー。よし、取寄せよう。
- あれっ、いま何借りてたっけ？ちょっと確認…
- 九大にない文献を他大学から複写してもらおう。(有料だけど)

こんなことが、Webで自宅からでもできるんです。



まずは附属図書館ウェブサイト > 学習研究サポート > MyLibrary へアクセス！



学生証を見ながら登録してみよう

パスワード新規登録

利用名とメールアドレスを入力してください。

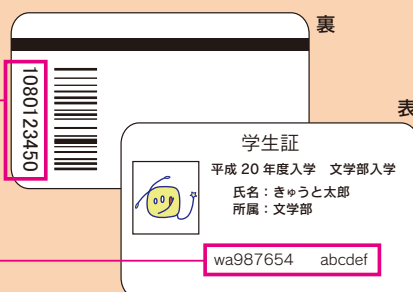
利用名:

メールアドレス:

パスワード:

確認パスワード:

登録 取消 戻る



※H18年度以降入学の学部生・大学院生の方は、情報基盤センターが付与するE-Mailアドレスが初期登録されています。
それ以外の方は、まずカウンターでE-Mailアドレス登録申請を行ってください。

図書館員の

おしゃべりコラム

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

私は今、伊都キャンパスの理系図書館で働いております。思い返してみると、私が大学に入学したのが2001年の春。あれから7年も経つんだなあ…。まあそんなことはおいといて、私の大学生時代、図書館での思い出を。

授業の合間に暇をつぶそうとなんとなく図書館へ。図書館の入り口には週刊誌や月刊誌、新聞を読むコーナーがあった。おいてあった雑誌を順番にパラパラと読んでいく。そして最後に手をとったのはあの分厚いJTBの時刻表。別に旅行に行くわけでもなく、帰省するというわけでもなかったが綺麗な写真の表紙だったんでなんとなく。これが意外にも、侮るなかれという代物。タイムテーブルだけでなく、お得きつばやおすすりめ旅行情報、駅名を眺めるだけでも、けっこうおもしろい。しかも、トップの特集は穴場的な場所をとりあげている。あんなに情報量の多い雑誌は他に類を見ない！それ以来、時刻表をほかの雑誌と同じような感覚で読むようになりました。

図書館は一期一会。思わぬ出会いを与えてくれる場所。新入生の皆さんも気軽に図書館に遊びに来てみてください。思わぬ出会いが待っているかもしれないですよ。

わからないことがあったら、どんどん質問してください。お待ちしております。

(理系図書館T.N.)

